

BIO REPORT



★卒業研究★

審査会を行いました！

入学してから身につけた知識や技術の集大成として、卒業学年の学生は「卒業研究」を行います。卒業学年になると、なんと週の8割が実習(実験)です。

自分で決めたテーマについて研究を行い、実験方法やその結果、そこからわかることをまとめて「卒業論文」を作成します。また、その内容をまとめてプレゼンテーションする「審査会」があり、これが試験となります。みんな緊張しながらも、しっかりと自分の行ってきた実験について説明することができていました！

この審査会で優秀な成績を収めた学生は、2月4日に恵庭市民会館で行われる他学科との合同卒業研究・制作発表会にて口頭もしくはポスター発表を行います。



★商品開発実習★

パンの学内販売を行いました！

食品専攻の学生が、「商品開発実習」の中で製造したパンを学内で販売しました。この実習では、自分たちで材料を選び、オリジナルのパンを考案して製造します。食品加工実習室で本格的に作ったパンを校舎の学生ラウンジで販売しました。当日は150個ほどのパンを用意しましたが、10分ほどで完売してしまいました！

原価計算をして利益を考え、作ったパンを実際に自分たちで販売することで、マーケティングのひと通りの流れを経験することができます。



★快挙★

実験動物2級技術者試験にて成績優秀者表彰を受けました！

新薬開発や医薬品の安全性検査などの分野へ就職を目指す学生が取得する「実験動物2級技術者」の資格。この資格の試験は、筆記試験と実技試験があります。

授業開講以来、今年も含めて全員が合格しています！今年の試験では、試験の成績が優秀だったということで3名の学生が表彰されました。

普段の授業や実習で、7口になるのに必要な知識や技術を確実に身につけていきます。



★産学官連携★

ゆめちから&恵庭産トマトプロジェクトの成果発表！

恵庭市特産の小麦粉「ゆめちから」と恵庭産のトマトを使った新商品開発を行うプロジェクト。今回は2年生がゆめちからとトマトの2つのグループに分かれて参加しました。

自分たちが考案した商品についてまとめて、産学官連携担当者に対してプレゼンテーションを行いました。

内容はまだヒミツですが、「これはイイ！」というものがありましたので、恵庭市や恵庭市内の関係機関に商品化を働きかけていくことになりました。



★スペシャルオープンキャンパス★

2016年2月21日(日)のオープンキャンパスは、**[DNA解析体験]**のスペシャルメニュー☆
DNA鑑定技術を体験しよう&個別相談もOK♪

詳細・申し込みは学校HPへ！

卒業生の活躍を紹介！ VOL.2

実習・実験の毎日が分析・研究・開発のプロを育てる。

新薬開発・安全性検査など医療の発展に貢献していく

バイオテクノロジー学科



動物科学科

理研ビタミン株式会社
千葉工場 製造2課1係(千葉県)勤務

食品醸造

池田 隼彬さん 北海道 函館西高校出身
バイオテクノロジー学科 2013年卒業生

好きな化学を仕事に。

私はスプレードライヤーを使って食品用の添加剤を作る仕事をしています。高校時代から化学が好きで、機械を扱う仕事にも興味がありました。ハイテックのバイオテクノロジー学科に入学し、卒業研究で取り組んだことが今の仕事にも生かされています。先生の指導のおかげで内定をいただくことができました。また、在学中に資格取得の勉強方法を学んだことで、今でも効率的に勉強ができています。日々の仕事は一つのことをただこなすだけではなく、考えて行うことが多いです。大変ですが、自分でやりたいことができる環境にいられて良かったと思います。

田中製餡株式会社
(千歳市)勤務

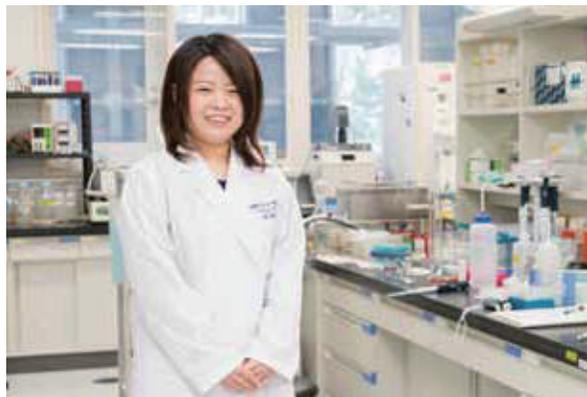
食品分析・食品検査

藤原 佑輔さん 北海道 八雲高校出身
バイオテクノロジー学科 2014年卒業生

実習が現場で生きる。

私の業務は食品についての細菌検査の準備作業で、主に培地調製を行っています。細菌検査の方がスムーズに検査できるように環境を整える仕事です。ハイテックでは実習が多くありましたが、とにかくどれだけ自分で器具を操作し、計算できるようになるのが大事だと思います。学校も会社も器具に差はないので、授業でしっかり操作できるようになれば、会社に入ってから自信を持って仕事ができます。どんな小さなことでも見逃さないような検査員になることが今の目標です。

【大学進学を考えている方】本校では大学院への進学も可能です！



北海道大学大学院 生命科学院 生命融合科学コース
分子適応科学研究室(札幌市)進学

奈良 真帆さん 北海道 札幌北高校出身
動物科学科 2015年卒業生

化学の力で人の役に立つ。

在学中は、医薬品や化粧品など化学の力で人の役に立てる仕事に携わりたと思っていました。ハイテックが連携している国立研究開発法人産業技術総合研究所で研修生として研究に参加していたとき、中長期的な目標・目的を設定し、一連の実験の全過程に関わることで研究が進んでいく面白さを知ることができました。この経験がきっかけで、さらに深くバイオテクノロジーを研究したいと思うようになり、大学院への進学を決めました。化学の力で人の役に立ちたいという気持ちは今も変わっていません。現在は化粧品開発につながる研究を行っています。

北海道ハイテクノロジー専門学校は、北海道の産業界・地域と手を携えた「産学官協同教育」で、北海道で活躍するリーダーシップを発揮できる人材を養成し、北海道の地域創成に貢献します。